

公共建築でも大活躍

工業 沼栄

HYSPEED工法

おいらせ町の
災害公営住宅

(有)沼栄工業(おいらせ町 沼端一彦社長)はこのほど、おいらせ町苗平谷地で、天然砕石だけを用いた地盤改良工法『HYSPEED工法』(ハイスピード工法)による災害公営住宅建設工事の施工現場を公開した。

同工法は、ドリルで地盤を掘削した後、天然砕石を投入し、転圧・締め固めしながら地盤の強度を高める工法で、砕石杭を構築する段階で周辺地

リスクを回避できるなど、環境保全型の地盤改良工法である点が大きな特長。

さらに、砕石を利用しているため、建物解体時に埋設物を撤去する必要がなく、土地評価に影響する埋設物問題もクリアしながら地盤強化できる特長を持つなど、「錆びない」「折れない」「汚さない」地盤改良工法として

今回公開した現場は、おいらせ町が災害公営住宅として新築する木造平屋建、約330平方メートル(長屋タイプ5戸)で、『HYSPEED工法』

としては県内初の公共建築物。実施プランは杜設計事務所、施工はカネヒロ(元請け)が請け負い、『HYSPEED工法』の性能が評価され、同工法の本県代理店である沼栄工業が施工することになった。

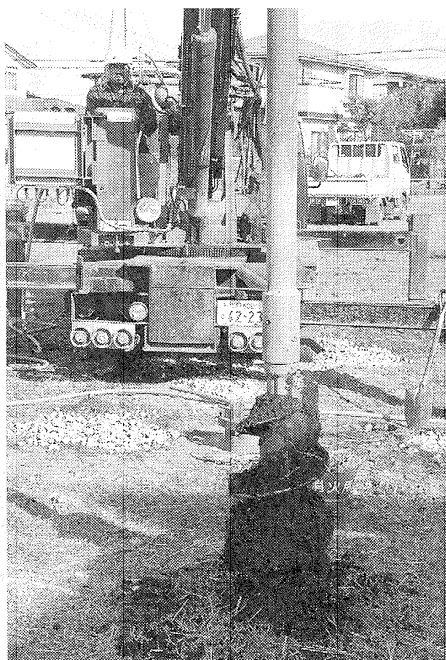
この日の作業では、杭芯位置出しされたポイントに、ハイスピードハンマーで深さ1・75メートル、直径約400ミリの掘削を行った後、バックホウで砕石を投入しながらピス

トンバルブによる圧密作業を実施し、手際よく砕石杭を構築した。

同社は、県内代理店として加盟以来、県内外ですでに200か所以上の施工実績を有しており、「一般住宅や福祉施設だけに限らず、公共建築物にも十分に対応可能です。今後も人と環境に優

しい地盤改良で地域のお役に立ちたい」と話している。

『HYSPEED工法』についての問い合わせは、(有)沼栄工業(T039-2232 上北郡おいらせ町東後谷地38-12 電話0178-5212823)まで。



205棟目となる災害公営住宅の工事現場